



『Yes-No 選択の時』(8月29日) を振り返って・・・

<みんなの感想より>

- 自分の視野を広げていろんな世界を見てから選択すればいいかなって思います。でも、視野を広げるためにはどれも中途半端じゃいけなくて、全てを全力でするからこそ視野も広がって最終の自分の納得いく選択ができると思いました。(1組女子)
- YES-NOの選択は難しい。しかし、私たちは普段から選択をして生きている。たとえどんな小さな選択でも、1つ1つの選択が大きな選択につながるのだと思いました。(1組男子)
- 決まっているべきと思ったが、決まっていなくてもよいと思った。なぜなら、十何年の人生で決めて、それに向けて突き進むよりも(これも大切だと思うが), 色々な経験, 学びを重ねて、じっくり考えてもよいと思ったからだ。早く決めて間違っているということはないと思うが、自分の人生だから、じっくり考えていけばよいと思う。少しずつ自分に合っているものを見出しができればよいと思う。(2組女子)
- 自分でしたいことを決断して生きられる人はとてもすごいと思う。悩んだまま後悔して終わらないように、決断していく人になりたいと思いました。(2組男子)
- もう少しで進路相談があると思うとなんか不安です。今日の授業でやったように、自分のやりたいことを早く見つけて志望校を考えるのも、自分が行きたいところに行けるようにしっかり自分の目標を持って進路について考えたいです。(3組女子)
- 早くに決断して上手くいけば良いけど、小田さんはその決断が遅くなってしまった。プロになるかを長い間考えていたからこそ、歌手での成功が出来たんだと思った。決断は早い方が自分も周りも安心することができるけど、早くした方が…と思い過ぎて、安易な選択をしてはいけないと思った。しっかり考えて早く決断することが大切だと思った。(3組男子)
- 一つに決めてうまくいく人はそれなりの覚悟と努力、自信がある人じゃないと決めて実現は出来ないし、かといって、はじめは一つに決められない人でも、最後はしっかり覚悟をもって決めている。早く自分の道に歩いて行った人よりは、夢を実現することが遅くなつたかもしれないけど、寄り道しても最後は自分の道を歩いていければ、いつでも夢は実現すると思う。(4組女子)
- 人生は一度きりなので、自分が何になるかは自分で決めるべき。選択によっては、人生が変わるのがとてもこわく、でも楽しいことだと思う。(4組男子)

- 平井さんは、昔からひとつに決めていた。小田さんは、28歳の時に決意した。私の夢もゆっくり、じっくり悩んで、悩んで、決定したらしいということが分かった。いま、決めて進学するんじゃなくて、もう少したってから、本当になりたい将来の夢になればいい。今日、勉強したことを心にとめて、これからもがんばっていきたいと思います。(5組女子)
- 一つひとつの選択は小さいことだったり、大きいことだったりもあるけれど、YesかNoの判断の仕方は一緒だから、少しずつの選択をしていって、この先の人生が変わっていくんだなと思いました。(5組男子)
- 今、15歳の自分がこれから的人生を決める一歩になっていることがよく分かった。人は、どこかで人生失敗してしまうこともあるかもしれないけど、自分がやりたいことに突き進むのは、何の失敗でもないし、むしろかっこいいことなのだと私は思った。(6組女子)
- 二人とも歌手をしているけど、選んだ進路が全く違っていてびっくりした。結局は、自分の努力次第なのかなと思った。あと、選んだ進路に後悔があるかもしれないけど、それでも楽しいことよかったですは絶対あるはずなので、努力したいなと思った。(6組男子)

歌手として活躍する平井堅さんと小田和正さん。「昔から歌が上手くて、歌手を目指していたんでしょ?」…そんなことはなかったようです。歌手にならなかったと心に決めて突き進んだ平井堅さんに対して、小田和正さんはアマチュアで続けることを前提に大学院まで進学したようですね。小田さんは悩みながら生きていく毎日の中で多くを学び、その経験も今の歌づくりに生かされているのではないかと感じます。「本当はやりたいことが決まっていいけれど、まだわからない」という人もいるでしょう。だけど、これから自分の進む道を選んでいかなければなりません。一つひとつの自分の決断を納得して進めて行けるように、これから過ごしていきたいですね。自分の決断をゆるぎないものにできるかは、その後の自分の頑張りにかかっている気がします。今回の授業が、自分の進路に向けて日々悩み、頑張っているみんなの生きるヒントになっていたらと願います。
